

大滝区(旧大滝村)の年表

(平成18年2月28日現在)

年月	記事
明治2年	えぞ地を北海道と名付け開拓史を設置する
明治13年	有珠郡に黄金薬村・紋籠村・長流有珠二カ村の戸長役場が設置された
明治27年	青森県人永井五郎兵衛が優徳に住みつきこれが本村のはじまりとなる
明治29年	鹿児島県人橋口文蔵が優徳に農場を開設
明治30年	長流川上流原野植民地区画測量が開始される
明治30年	藤原平兵衛が北湯沢温泉を発見する
明治32年	長流村・西紋籠村・有珠村の一部を分割して壮警村が設けられ本村はその管轄となる
明治36年	蟠溪三階滝間の道路開通
明治39年	徳舜警簡易教育所が開校
明治41年	徳舜警教授場が開設(上野小学校の前身)
明治42年	徳舜警駅通所が設置(現在の円山地区)
明治44年	蟠溪教育所が開設(昭園小学校の前身)
明治44年	オロウエンシベツ私立学校の開設(清原小学校の前身)
大正元年	徳舜警郵便局開局(現在の円山地区)
大正4年	壮警より分村し徳舜警村戸長役場が開設される
大正4年	三階滝沢駅通所が設置
大正4年	ソーケシュオマベツ特別教授所が開設(愛地小学校校の前身)
大正4年	広島特別教授所が開設
大正5年	本郷特別教授所が開設(優徳小学校の前身)
大正5年	伊藤周次郎が上野で鉄鉱を発見する
大正8年	二級町村制が施行され戸長は村長になる
大正10年	野崎留め吉が本郷において米づくりに成功する
昭和5年	電信・電話の事務取扱が開始される
昭和13年	三階滝に徳竜金山が操業する
昭和15年	胆振縦貫鉄道が伊達紋別—徳舜警間に開通する
昭和15年	三階滝徳竜金山が電化される(本村では最初の電化)
昭和17年	字名及び番地が改正される
昭和19年	胆振縦貫鉄道が国鉄胆振線となる
昭和22年	新制度により徳舜警中学校開校
昭和24年	北湯沢温泉が支笏洞爺国立公園に含まれる

年月	記事
昭和25年	役場庁舎を本町駅前に移転し村名を大滝村に改称する
昭和26年	大滝小学校開校
昭和27年	国民健康保険診療所開設
昭和27年	優徳中学校開校
昭和27年	大滝郵便局が本町に移転
昭和28年	有線放送が開始される
昭和30年	開村40周年記念式
昭和31年	昭園小学校湯沢分校が設置
昭和31年	道南バス運行開始(洞爺湖—大滝—美笛)
昭和32年	北湯沢温泉が国民保養温泉地に指定される
昭和33年	昭園など無電灯地帯120戸電化
昭和34年	村営国民宿舎ホロホロ荘完成(道内第1号の国民宿舎)
昭和35年	北湯沢スキー場開設
昭和35年	清陵小学校開設
昭和36年	村営牧野完成
昭和37年	北湯沢スキー場にロープ灯完成
昭和38年	北湯沢温泉プール開始
昭和39年	昭園小学校、湯沢分校を合併し北湯沢小学校を開校
昭和40年	開基70周年、開村50周年記念式
昭和40年	村章・村旗が制定される
昭和40年	北湯沢スキー場にリフト完成
昭和41年	公営住宅が初めて建設される
昭和41年	若草へき地保育所が開設
昭和43年	振興山村の指定を受ける
昭和44年	清原小学校廃校
昭和45年	今井栄一氏、名誉村民となる
昭和45年	過疎地域の指定を受ける
昭和45年	農村集団電話が開通
昭和45年	清陵小学校廃校
昭和46年	日鉱業徳舜管鉱山が閉山
昭和46年	本町地区の水道施設が給水を開始
昭和46年	北湯沢—優徳間に温泉パイプライン完成

年月	記事
昭和47年	農業振興地域に指定
昭和47年	西胆振消防組合に加入し大滝支署となる
昭和48年	陵雲厚生会北湯沢リハビリセンター・北湯沢ふるさとホーム開設
昭和48年	(本村の福祉施設第1号)
昭和49年	ビバランド大滝学園開設
昭和49年	林業振興地域に指定
昭和49年	愛地小学校廃校
昭和49年	大滝小学校グラウンドにナイター施設完成
昭和50年	開基80周年・開村60周年記念式
昭和50年	ホロホロ山が自然休養林に指定される
昭和50年	村内の一般の電話が自動化になる
昭和50年	村民共同浴場が優徳に完成
昭和50年	北湯沢地区の水道施設が給水を開始
昭和51年	ビバランド優徳荘開設
昭和51年	全天候型温泉プール完成
昭和52年	役場新庁舎完成
昭和52年	寿大学開始
昭和53年	国立大学大滝セミナーハウス開設
昭和53年	国道276号滝笛トンネル工事が着工
昭和53年	交通事故死ゼロ三千日達成
昭和53年	北湯沢温泉に全天候型テニスコート完成
昭和54年	無火災千日達成
昭和55年	優徳地区水道施設給水開始
昭和55年	保冷貯蔵施設完成
昭和56年	エルム大滝病院開院
昭和56年	上野小学校廃校
昭和56年	記録的な8月の集中豪雨により村内各地で大きな被害が発生する
昭和57年	林間学校「大滝青少年の家」上野小学校跡に開校
昭和58年	大滝村商工会設立
昭和58年	北湯沢病院開院
昭和58年	村立保育所完成
昭和58年	基幹集落センター完成

年月	記事
昭和59年	国道276号美笛峠新ルート・滝笛トンネル完成
昭和59年	糸川章夫氏名誉村民となる
昭和60年	村民憲章制定
昭和60年	村の木ヤマモミジ・村の花ミヤマエンレイソウ指定
昭和60年	大滝中学校と優徳中学校が統合（優徳中学校閉校）
昭和60年	開基90周年、開村70周年記念式
昭和61年	北湯沢地区浄水場拡張
昭和61年	千歳空港～大滝～洞爺湖温泉間に季節バス運行
昭和61年	国鉄胆振線廃止
昭和61年	代替バス運行開始
昭和62年	大滝温泉ハイツ開園
昭和62年	総合運動公園が完成
昭和62年	優徳町に集出荷施設完成
昭和62年	大滝村きのこセンター完成
昭和63年	大滝中学校新校舎落成
昭和63年	大滝わらしべ園開園
昭和63年	交通事故死ゼロ千日達成
平成元年	大滝村森林せせらぎ館完成
平成元年	ふるさと創生事業「平成ふるさとの道工事着工」
平成元年	カナダ・レイク・カウチン村と姉妹村調印
平成元年	地熱農業施設導入試験事業工事着工
平成2年	雇用促進住宅完成
平成2年	フォーレスト276総合開発事業一部オープン
平成2年	過疎地域活性化特別措置法の地域指定を受ける
平成2年	大滝村社会福祉協議会が社会福祉法人（法人化）としてスタート
平成3年	名誉村民糸川章夫氏逝去
平成3年	塵介焼却炉完成
平成3年	円山地熱ハウス団地（中山間間等林地活用産地形成モデル）一部完成
平成3年	清三線普通林道完成
平成3年	第一回おおたき国際スキーマラソン大会
平成3年	第一回大滝村社会福祉大会
平成4年	公共下水道事業着工

年月	記事
平成4年	優徳友情公園完成
平成4年	第6回北海道むらこん24大滝開催
平成5年	学校給食センター完成
平成5年	札幌・伊達間国道昇格(国道453号)
平成5年	平成ふるさとの道全面完成
平成5年	国営草地開発事業中島団地完成
平成5年	林産物二次利用生産研究施設完成
平成6年	国際交流ゲストハウス完成
平成6年	三階滝公園トーマポールの丘完成
平成6年	北海道大滝村推進協力会東京本部発足
平成7年	大滝村ニューカントリー構想指定
平成7年	地域活性化交流センター完成
平成7年	開基100周年・開村80周年記念式
平成7年	大滝村第一回北海道工芸展開催
平成7年	優徳小学校新校舎落成
平成8年	北湯沢ユースホステル完成
平成8年	工芸館完成
平成8年	湯元「名水亭」オープン
平成8年	道の駅「フォーレスト276大滝」建設省に登録
平成8年	ニューカントリーフォーラム開催
平成8年	北湯沢温泉ケアハウス「クアリゾート453」オープン
平成8年	雪体験ふるさとスキーツアーコース・管理棟完成
平成8年	大滝村ホームページ開設
平成9年	大滝村中国交流友好協会設立
平成9年	大滝村高齢者事業団設立
平成9年	大滝村田園地域総合整備事業実施地域指定
平成9年	中国へ愛の車椅子運動贈呈事業開始
平成9年	大滝村利雪・新雪フェア開催
平成10年	大滝村公共下水道通水式開催
平成10年	上野地区営農用水施設完成
平成10年	主要道道白老大滝線開通
平成10年	健康保養地作り計画モデル指定

年月	記事
平成11年	クロスカントリー常設コースオープン
平成11年	大滝村地域振興券交付
平成11年	三階滝体験農園開園
平成11年	住民票のデジタル化
平成11年	庁舎内LAN(職員一人1台PC整備)
平成12年	大滝村デイサービスセンター完成
平成12年	大滝村議会生中継開始(役場ロビー・基幹集落センターホール)
平成12年	大滝村郵便局新局舎完成
平成12年	優徳農村公園完成
平成13年	湯本 第二名水亭オープン
平成13年	大滝村森林組合が合併し胆振西部森林組合となる(新事務所新築)
平成13年	花のおおたき溪流祭り開催
平成14年	戸籍事務のコンピューター化
平成14年	白樺団地建替完了
平成14年	国際ノルディックウォーキング協会より国内第1号の公認コースとして認定
平成14年	住民基本台帳ネットワークシステムスタート
平成14年	大滝村ケーブルテレビ事業着手
平成15年	大滝・優徳・北湯沢小学校閉校式
平成15年	新生 大滝小学校開校(旧優徳小学校校舎)
平成15年	ゴミの分別収集開始
平成15年	伊達市・壮瞥町・大滝村合併協議会設置
平成16年	大滝村ケーブルテレビ開局
平成16年	ゴミ有料化開始
平成16年	大滝村有機物再資源化センター完成
平成16年	高齢者公営住宅 ほのぼの団地完成
平成17年	2月18日、伊達市・大滝村の合併協定に調印
平成17年	優徳コミュニティセンター完成
平成18年	2月28日、伊達市へ編入合併のため大滝村閉村